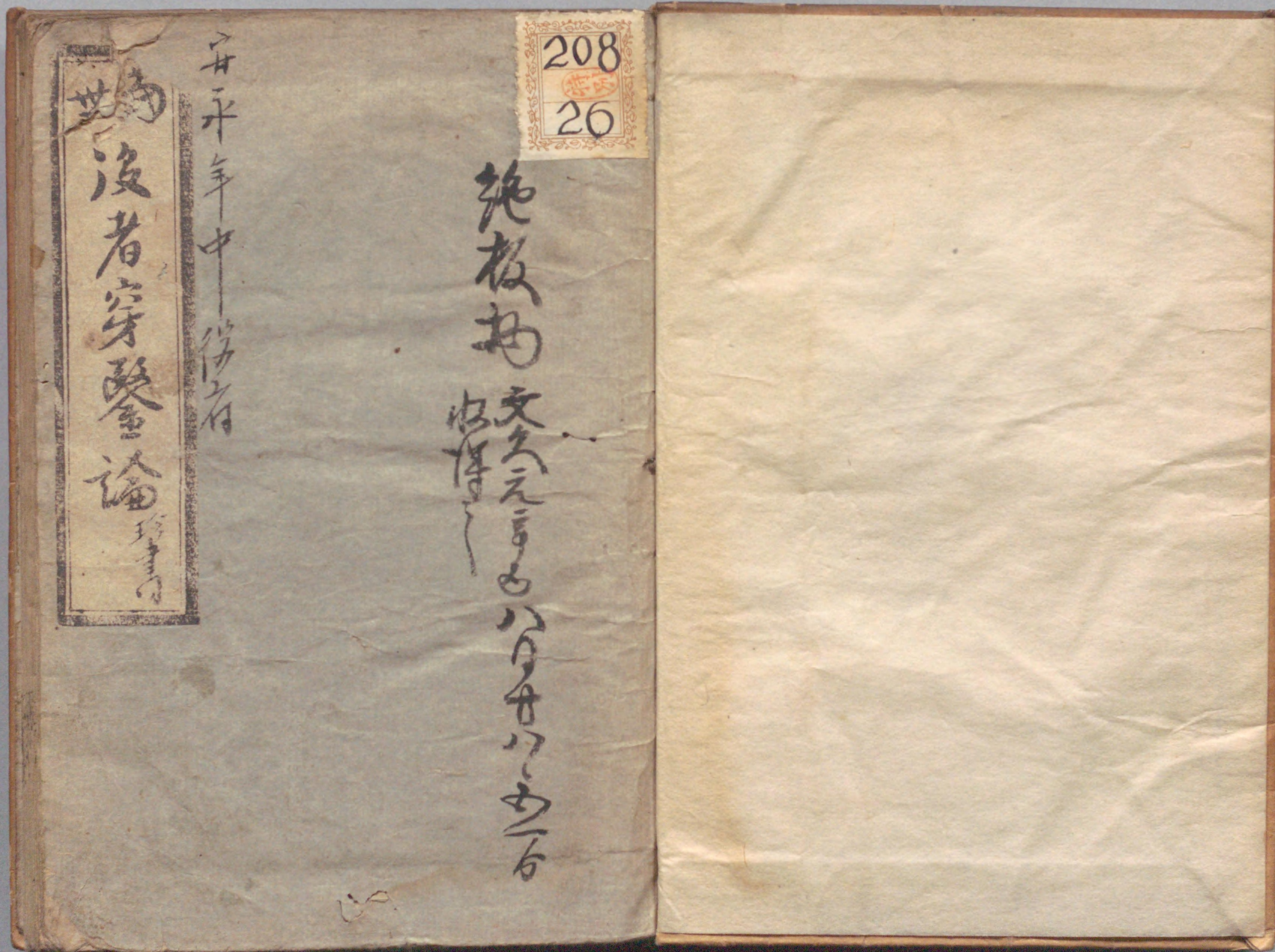


国立国会図書館 役者穿鑿論 208-26



ガラス使用



為
役者穿鑿論
珍書

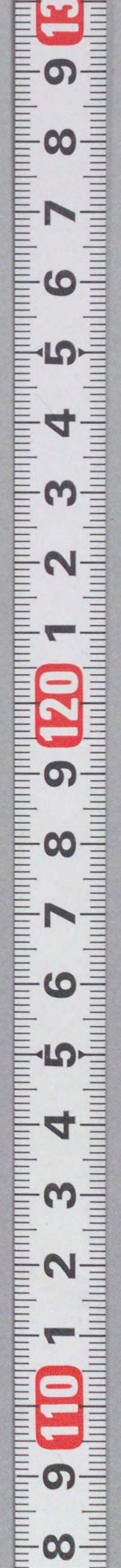
安永年中 後存

208
26

絶板物
文久元年
也博

国立国会図書館 役者穿鑿論 208-26

ガラス使用





假者穿鑿論叙

福田文庫

時賈堂

此戲場ハ天の岩戸ハ
 神カミ亦ナラ舞マヒキキ人の代ト小コ舞マヒりてハ
 出イでデのノあアまマよりリさサびビありて。人の
 心ココロ小コ阿ア不フ後ゴハ。心ココロもモ悔クハるルとト芝シ居イれ
 評判ヒヤクバン志シとト志シとトぬヌしシひヒきキく。





らめい、あつと
 おるは、田や
 と、今、小
 海を、秀の
 名、継、弟
 三、練、ひて
 九、代、お、よ、ぬ

評者 湯川下口のし 柞弟を、た、と、い、む、室
 尾四子、成の、夾、柞、造、矢の、根、か、の、時、た、し
 傍のお、勅、が、初、舞、さ、い、け、時、い、き、危、と、中、は、が
 日、年、の、冬、親、を、四、が、柞、造、の、年、と、なり、ま
 すと、改、名、を、せ、せ、や、奇、危、父、の、名、を、継、て、
 奇、号、と、なり、松、平、の、家、と、湊、一、が、実、小、柞、造
 血、す、の、源、其、遠、云、り、一、く、い、ら、ぬ、を、



それ小祖ぢい又拓たく送ま字の官ぐ氏くをまけられし小。
をひきまして山やまをまじりのり人ひととあり。唐たう本ほん
も。つばういとはつめまを やきき役やく者しやに能なるまじり
切きすとずきいいがこもめけりならひいやまじ
らふ 評者じやういえくそれいのいやまじりん
ちびい。古こ人にん路ろ秀しゆ柏はく車しやなど好すれし一い丸まる。
さやりち車しやもやりまや。中ちゆう伎ぎハ格べは

只ただ今いまのい文ぶん伎ぎハ古きも老らうも。今いまハきましため。
中ちゆうとさやりち車ハこぎなぬ。中ちゆうもいけし殊しゆ。
福ふくリきましいでこごる やききそれいでも
抱たかみし 評者じやうそれいも。一い京きやうから
川かわなど。人ひとのいちいハいちいもませぬ折せく
氷ひ川かわのい赤せ埴ねのいとら。津つがもちいふいち
れもも。一い人ひとといちいはいちいもませぬ折せく

一七



やまー^{そのうち}其^{そのうち}后宝暦七^{しち}の^{しち}年。木場の
ず^て子^しと^ちり。市川竹十^{ちくじゅう}と改^か名^なし。
其^{その}の^のち^ち深^{ふか}五^ごと^と変^{へん}名^なし。同十三年
末^{すえ}の^の冬^{ふゆ}。弱^{じやく}美^み小^{せう}娘^{むすめ}て。絶^たて^た之^の一^{いつ}き^きき^きる^るを^をと
け^け時^{とき}初^{はじ}て^てま^まひ^ひり^りし^し。小^{せう}娘^{むすめ}と^と志^しき^き小^{せう}娘^{むすめ}の
方^{かた}も^も。能^{のう}形^{がた}と^と尺^{しゃく}之^の一^{いつ}き^きと^とヤ^ヤセ^セし^しや。
さ^さら^らに^に一^{いつ}帖^{てい}の^の一^{いつ}帖^{てい}。師^しの^の一^{いつ}帖^{てい}を^をげ^げと

ぬ^ぬて^て角^{かく}を^をさ^さら^らに^にし^して^て来^来し^し。人^{ひと}業^{わざ}の^の湯^ゆま^まり
好^{この}。能^{のう}形^{がた}も^もさ^さら^らに^にし^して^て来^来し^し。志^しき^き小^{せう}娘^{むすめ}の^の付^つて
も^も一^{いつ}帖^{てい}の^の一^{いつ}帖^{てい}。志^しき^き小^{せう}娘^{むすめ}の^の付^つて
さ^さら^らに^にし^して^て来^来し^し。志^しき^き小^{せう}娘^{むすめ}の^の付^つて
さ^さら^らに^にし^して^て来^来し^し。志^しき^き小^{せう}娘^{むすめ}の^の付^つて
さ^さら^らに^にし^して^て来^来し^し。志^しき^き小^{せう}娘^{むすめ}の^の付^つて

市川八百藏傳



住居いほ町茅草屋。俳名中車。ト
二十九。法全七百也。妻あり也。定花が
妹あり。一子傳花。弟中村花の子後
初中村傳花として。傳花がす子あり。室屋
十三年末の冬。定花の名跡を継て。八百
花と改名也。評者 初ハ世竹掃部として。
傳花ありてこさつころ。傳花がす子と

あり。一古人八百花。傳花の恩顧の老
まで。傳花の世にせし。傳花の實據あり
若かりハ定花が名跡を継て。此
つが子傳花にて。八百花が名跡を継て
定花が妹と。めありせし。こさつころハ
中車よりハ綿考さん。すこ綿考さんハ
中車角よりハひと。此ハ八百花小

なると志き。小綿考ふふさ。いとい。旧格
のゆい。存不致せ。ハ。け人の。発の。具。時。河
改。変。を。ハ。一。生。下。ハ。付。水。を。ハ。あり。ま。き。ま。ひ。
け人。次。ま。て。気。を。い。ひ。も。い。い。好。き。が。好。で
こ。ぶ。る。具。業。も。當。時。の。利。者。之。芝。布。で。非
なり。や。ま。を。か。し。の。新。と。せ。より。さ。く。の。町。へ
く。こ。う。り。劫。之。改。名。の。時。を。取。ら。れ。ハ。た。の。す

縁と云立て。と笑宗之えかりこと海めぐら
せ。が。木。場。の。都。下。何。も。振。て。ハ。百。石。産
外。子。存。る。と。も。和。れ。も。今。存。ハ。三。子。が。り。で。の
お。勤。お。水。ハ。綿。考。す。四。子。の。方。ハ。一。き。一。て。勤
産。き。不。是。も。の。ち。あ。り。加。忘。れ。ら。る。劫。之。改
名。に。ハ。市。川。の。名。苗。字。加。奪。と。水。い。の。ご。う
け。海。中。事。も。ん。ハ。二。つ。牙。一。つ。わ。ど。が。川



わらわのいび人のわらわいなるぞや。さる程わ。
爽ハ物この天あり。あけを。い女中ハ
中車がおもつて天水桶のあけ。徳利が
吸で飲り。さるふつて。さるふつとやませ。
川でひてのあけ。あけさせても外ハ
あるまい。さるのさるきれ。切居。中の間
をいび人城崎よりまを。女中ハ窓より水

さる。いび人あま。きりいとハ人へませ。

嵐三五郎傳

住居はさす。竹川。あけあけ。あけあけ。
すまい。あけ。あけ。あけ。あけ。あけ。あけ。
九強金七。あけ。あけ。あけ。あけ。あけ。あけ。
元久末の爽。あけ。あけ。あけ。あけ。あけ。あけ。

まて父の名跡なごせきをひのり 評者 功かみて父は舞まわりの
 狐きつねとちり。父のす子こ氣きとらばひ保たもて。
 毛けがれしき。こ。こ。こ。器き用ようなる人ひととく。こ。
 へでべしす。争あしありまする。なみか
 合あいで。俳はい諧かいしつ。さし。の。跡せきし。 評者
 ち。こ。子の風俗ふうじやく。ちとち。や。き。と。ら。る。
 やうと 評者 人々の終はつ小こ上じやう方はう風ふうがめ。け。ま

せねば。戸眼こどめでいさや。でもこざり。ら。が。う。
 方かたで。ハ。不ふれぬ女によハ。ち。り。り。と。さ。げ。人ひととんち。
 其その業わざも高時たかときの。と。も。く。細こみ。え。の。付つ人ひと
 て。こ。も。 評者 アノ。事こと花はなハ。実まことの子こらの 評者
 花はな子こで。こ。も。ら。ち。ち。の。め。上うへ、せ。せ。し。

大谷廣次傳

任所一町九庄。側名十町と一十八
金七百多。喜阿せせ。紫子之人
宝唐五子之。大吞乗以とて。市村堂
に初舞と。旧家の影とせより。鬼と改
同年の冬より。唐のと改名を。評者 三死
のそ。人相好く。えられませ。口を
の秋。深川の東やの娘が。うけあんと

ふす。い。系。浮気をお風でも。女家の五内
欠也とい。こはもあんまり。厚く。い
い。や。わ。い。評者 かも。能。この。を。い。ま。で。も
こ。ぎ。た。ぬ。十町が。美。え。して。ゆ。れ。ま。し。し。
あ。も。い。つ。女。さ。評者 ぶ。と。で。い。ま。は。を。致。ご。が
あ。げ。ん。月。で。し。何。の。も。ち。評者 す。を。て。役。者
。十町。小。さ。さ。た。舞。い。い。ま。し。致。ゆ。さ。い。

とて一まき。ぶんと。きけいちがひ。

中村仲藏傳

住布和泉町。よしの向う。栄正。能名
秀隆と一四十七。給金七百あり。まおき
常子二人
弟幼き子あり。延享の末お勅を初

とつけごと。后立役。ゆゑに二はあのみ。色忍
まあり。ま立身 評者 一、六質人でござる。一
は役者止めて。振付はつきたら。再び
舞踊。いゆせき。定なり。より評よく。う旋
とよみ。あつれす。げん万よと。うりも。
只お業の。も一。つきたまを。舞踊。い
あるふも。あげ幕など。まう。うり。い。い。

十七



かねて一ツのきつかけぬすと。きよぶこーらふ致
 まま。龍御守どる時。みなの指の尻にお色
 の袴の具とつけて。一度は忽々まどるれまど。
 おいせりと若て。舞こい。歌かて。よどのきつみ。
 げと乃ふとらて。ことなる

坂東三津五郎傳

住居木橋丁の系大和屋。能名是業。と
 三十五。金六百五十。あるま。この。八十助娘。多。
 おと。一子。以産。
 初竹田已し助とて。大坂竹田。おほり。産多。と。古
 三ハ。中子と。か。一。下。る。拜。考。け。人。器。用。か。入
 して。能。は。戸。の。風。細。香。色。と。し。と。お。ふ。一。は。お
 ち。新。ま。する。が。お。川。お。川。お。の。あ。と。せ。り。る。



くひらふさ小ます。け人けは天の境の御術城
学まぢやれす。事こともよ経きんヨモ。を以
てこゝろ香と中香ハ。とけふ小自製せ衣小でる。
別系すかぢのけいせで受ます。芝居の御庭しとけ
女中ハよろそお求もとめるさ、

大谷廣右衛門傳

住居すまひ初はつ河川町。佛作ぶつ屋のうら。するが屋。
佛名ほとけな晚おそ凡ぼんと。五十二也。給金きん六百五十兩。
妻さいおす。貴子きこのド。すうがや十下じゅうげのす
子こあり。初大谷はつおほ玉たま屋やとて。寛永かんえい永ながの叔おじあり
本勅ほんしやく宣のたま暦十二年にじふにねんの龍りゆうくせり。廣人ひろひとを
改かへ名なも。[評者] け人下けひと出でり。くさ。くさ人
あり。ちと子こおんのふと。貴子きこのド。あり。

月を^{ひろ}と^{つか}き^つて^まし^まも^る。[]^まち^のの^うち。
 折^ひく^作野^の何^がす^まじ^らる^やば^さ。[]^き新^まを
 ば^あせ^りえ^んご^と。[]^考急^をお^のの^役り^不足^を
 で^ひり^れま^しと^己お^のま^や町^へも^つけ^とう^し。
 と^{あり}お^の孩^おも^をれ^しが^仲人^らら^てい^はれ
 の^お勤^さが^水が^夾担^えば^おの^りも^あり^てま^しれ
 ず^と

三十

中村助五郎傳

住居^いは^ほし^町。もの^の向^うに^仙国^を做^る
 急^をと^し三^十五^両金^五百^両あ^りま^した^原
 田^の坂^者。若^子助^八
 宝^曆十^二年^午。夾^仙五^郎助^氏と^て木^挽町^へ
 初^舞の^日十^三未^のを^ます^り。助^氏と^{なる}
 []^考役^りと^いは^ちが^い。ま^るが^のな^いま^り人^で

こゝろ。第一はこゝろにけりや。トヤ。こゝろ
のしつりすも。[評者] 志し能く能くある
やばさ。[評者] 河川二流のしをとめて。古人
は流はゆるゆるせり。古人はゆるゆるせり
川。突と川と。志し能く能くある。流の勢
小こゝろ。しめて角力のあり。十町とけ人の
おろ。ことふも。絶力量しこがりすも。

市川團藏傳

住居こゝろ。新道三河。俳名市虹。とし
三十六。金五百。妻あり。お大坂お羽の子
としあり。城。市虹お子として。友流
く。其後志し能く能くある。今作のお志
継。志し能く能くある。[評者] せし能く能くある
こゝろ。又古志流の妻。小伝。事。お大

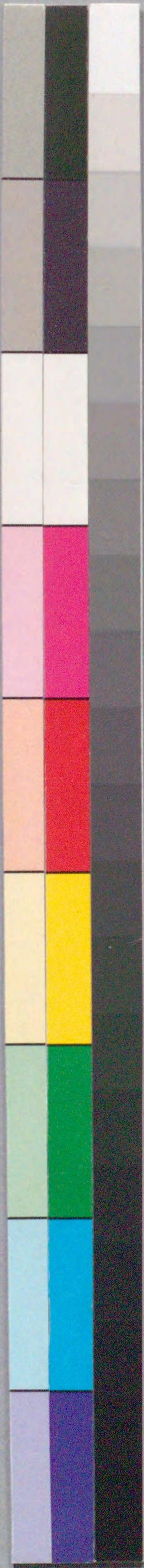
ナニ



小のりてく。其美はくはて。松伊をふり
す。後せんはそこのり。徳孝はふりさ
れ。目くらふ地や。きあつて。日福小
へ。されす。ゆでしる。時。松とふし。松
中。おし。ゆい。人でござる。

中島三甫右衛門傳

居所。しどこの。中島。徳名。天喜。と
四十九。金。六百。妻。おき。ち。子。三人
初。中島。三甫。右。とて。寛延。三年。の。真。勸。
宝曆。十二年。の。教。せ。り。三甫。ら。と。何。ん。む。
天喜。と。つ。お。徳。名。は。梅。香。が。つ。け。り。[徳] け。人
き。ぎ。り。考。ま。て。人。ふ。負。了。事。が。き。よ。い。そ。れ。な。つ。き。
く。ふ。人。が。あ。る。が。志。り。つ。て。お。や。う。ゆ。え。を。し。り。す。



孝子の愛やまこの内ぞとていさやげんおひ
すしとあるはれいぐおちくさこが初まじふ
何の方お然らとて。天香があさち友とちが
ありませ。これが天香おちくさ友とちが
とやうに城。傍ぶらひ。おちくさ友とちが
町をさびに極るを。るまじくおちくさ友とちが
何ぞ砥。おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。

天香おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。
おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。
おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。
おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。
おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。
おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。
おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。
おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。
おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。
おちくさ友とちが。何ぞ砥。おちくさ友とちが。

廿四

廿二



御さしつりし時ハ傍の人ハ驚けし
おけ天喜じしもせぬ。予といひ男とてん
とい老ががゆありき

大谷友右衛門傳

任居新道了王寺屋のり。任一や。
御名地友と一と十四拾金四百五

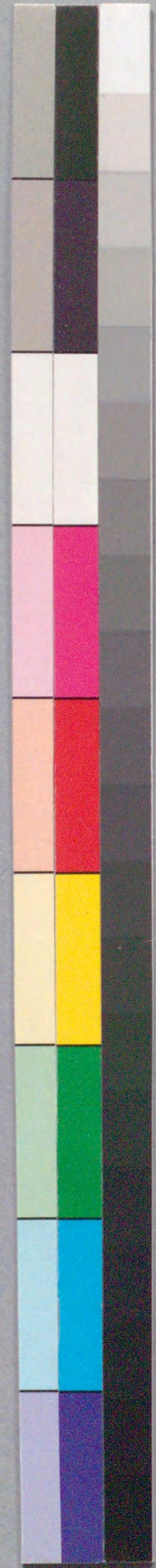
妻おし。太靴の十右衛門娘あり
え来初母の子どもく。大谷廣八ゆりまで。
初ハ友三下とす。後友らと何ぶとむ。[評者]
役ふとハちび。能く實の人。己る氣あどハ
少しとござん。すいふ芝居も。身不志て
はとめらぬまま。おぎハ初んぐひハ
さしませ。一といえどく。ち人でけるおま



病気の時に下女八麻りして多前に麻せし
者病候了りしす。[口]そのま[喜]
子のびゆるの[律者]ましく他人でもその
をり。なご人ふども。それいさといふ。つれ
まも。しきどちやうで。さうといふ。せうひんを
ごさる。曲之橋いせてハ。鳥羽やと
うらひまをすひ。

坂田半五郎傳

住居元大坂町正月。俳名枚曉えんとし
五十二。金七百五十。妻おきし二子
元祖坂田者十より四代の孫。実ハ仙玉
者十と男子。初仙玉佐十として。寛保



の初め初一て寛延二年巳の刻にせ坂田
此名跡以継依すの名ハすふ由り。半
五と改名を詳考 元質堅実情有り
人でござる。元形もさぶやう。徳芝居乃
せと改やれませ。殊小目黒不動寺へ
月詣して。信者でござる。喜あき一ハ
修四ぶらとりきませ

女形之部

山下金作傳

信右三町新乃王守屋能名里
如と一此七拾金七百由ませ。男子
令太卜眼おさく。浅川もみき生じし。
大坂の産初ハ中村才太丈とて。當す

廿二



才子あり其後山下雪作の名跡
 継評者此人佛僧成つて道に専ら死に被捨
 好川宗台てござる。一以ハ倍金乞が湯は
 ころ松と無とつる子で。まへや田之
 ち行す。

ある時子。里奴との噂。小不作ハむ地けハ其。その真似。むをぬめのちなれも女。こハお作よりハ。

地けハ其子トやが。そあこハ其比其のそとトやとつ。なるより。むま子さかこるハけそ子なるを。

芳沢崎之助傳

住居有、八町橋。能名妻水。ト一ト八能令
 六百多。妻お生は。男子一人娘一人
 大坂の産。ト一尺はやめす子あり。初名ハ赤
 市。明和元申のそ。赤村所。そ。碓助と

十八



政名（評者）活気人でもござる。突曲（つれづれ）ぐーお場や
 のぶおとろけて。おるまふくさるるを喜の
 おまひら。ちと里んさしでもござる。奥ある
 時の味。小女（こめ）さ。は、まひよ。し能すれば。
 外の事。いふもの。と後り。う。せ。いとく
 男のこと。おれ。い。あ。ふ。は。と。あ。さ。い。ま。
 なる。ち。と。ま。く。さ。さ。あ。ま。の。で。い。は。な。

岩井半四郎傳

任所。木枕町の原（いづみ）。一。が。な。能。名。杜。
 あり。と。一。二。十。六。錢。金。五。る。あ。喜。あ。さ。よ。こ。れ。は。
 さ。い。河。原。田。や。の。娘。一。っ。子。河。産。
 え。裡。才。買。り。より。ハ。ス。代。木。場。の。隠。居。が。子。子。
 卯。の。念。い。松。な。ま。松。宝。曆。十。二。午。の。妻。松。平。

十一



七能と政名一。明和二年丙の冬。岩井の
谷跡^{めつ}に^{せき}継^つ評者^{ひょう}イドのまうと性^{せう}で。との場^ば
おどが。けしきののしや城。あざんまざる
ぐり^{ぐり}まも。一^{いち}片^{ぺん}の六七^{なな}なつ。まを
ころを^{ころ}ま^まへ^へまを^まして。ま^まあ^ある。やう
ども。えて^{えて}や^やら^らち^ちど^ど。ま^ま川^{かわ}ら^らま^まし^しら^ら
ま^まの^のま^まと^とお^おと^とあ^あく^くあ^あら^られ^れち^ちら^らく

さやうちよでいごぢぬ^サと^とま^まやく^{やく}ん^んの
子^こい^いら^らそ^そあ^あら^らい^いは^はよ^よめ^めつ^つき^きい^いぬ^ぬい^い
そのま^まし^しさ^さや^やき^きそれ^れは^はま^まつ^つあ^あて^て。親^{おや}の^の辰^{たつみ}松^{まつ}
十^{じゅう}二^に年^{ねん}。ま^まじ^じ人^{ひと}形^{かたち}は^はく^くう^うう^うも^も。評^{ひょう}者^{しや}イ^い五^ご
二^に水^{みづ}ハ^は發^{はつ}城^{じやう}そ^そつ^つて。如^{ごと}あ^あと^と。ソ^そん^んき^きよ^よさ^さ
一^{いち}ま^まし^しさ^さ。テ^ての^のま^まま^まハ^は杜^とあ^あら^らま^まず^ずで^でこ^こま^まる

瀬川菊之丞傳



任居さう、町志ん乃。天王寺屋のくま。漢
村屋。能名。路考。と。一。二。三。金五百兩。
弟時。大坂乃とんがりの。産。徳川七代が
ずあり。お羽がた。志吉。當。て。て。
評むんの。逸。相。あり。評者。古人。路考。つ子。
け。當。三。乃。大坂。乃。その。評判。細。少。お。ひ。何
とぞ。呼。下。く。お。れ。一。内。お。と。病。を。は。れ

己。不。死。不。向。と。て。妻。の。お。は。は。は。は。枕。の
傍。不。才。お。き。何。と。ぞ。當。三。乃。び。下。し。お。志
跡。と。定。め。よ。と。お。れ。く。と。遠。く。て。泉。下
よ。お。し。む。き。す。く。そ。れ。お。さ。ら。そ。く。呼。下。せ。お
け。人。ん。せ。き。く。お。ん。の。娘。の。や。し。よ。と。お。が
こ。く。さ。ぎ。な。れ。ば。お。ま。は。し。ま。あ。び。ん。お。を。こ
お。の。あ。ど。い。な。ま。ま。く。と。サ。コ。ル。い。が。つ。と



ちく。大。丈。さん。く。と。ど。が。ー。グ。ド。ル。ま。を
[口] ちん。ご。ら。け。れ。ハ。乳。ま。そ。香。せ。と。子。す。
[評者] お。も。に。ど。の。ハ。北。西。也。あ。ろ。ろ。ど。の。ハ。北。西。二。ラ
ち。の。の。樞。柳。丈。の。ホ。ー。て。も。よ。く。
ろ。こ。で。ご。さ。る。[ひき] こ。評。者。何。れ。ぬ。り。も。
え。の。あ。ろ。ろ。が。ほ。ろ。入。ふ。ろ。と。て。よ。い。ト
せ。と。い。つ。ろ。せ。ま。ひ。こ。と。つ。く。と。あ。ま。ん

け。ち。め。さ。る。ぞ。あ。ろ。ろ。ハ。洋。ま。で。も。く。あ。
し。や。る。ち。
あ。女。の。の。毒。の。あ。る。こ。と。も。あ。る。あ。る。あ。る。の。あ。れ。だ。
ひ。き。の。眼。く。い。も。ん。せ。ん。く。ぬ。も。む。り。あ。く。せ。さ。れ。ハ。業
か。い。の。生。ま。ま。小。く。ー。く。ろ。ろ。ー
ま。い。の。れ。れ。が。業。の。の。ま。く。後。し。さ。く。あ。り
ら。ー。た。さ。あ。ら。ー。た。あ。ま。ん。が。ま。の。あ。れ。二。入
ろ。け。あ。ん。だ。と。い。ふ。あ。ま。い



中村里好傳

住右さくら町。いぜんの向く。さくら町。佛念
願すく小念と屯。と一二十八年。金五百両。
弟射を妻。あ親有り
大坂の産あり。中村まらます子。幼女の
時。子共芝居はとめ。小あぶらな盛
まつ記まで。松らの役中。大評判まで。

松らくと一松別松らとかのりーかせ記
小あおあかの念をバとして。江戸へ。時中つ
伊累して。松白とゆ。む評者。容を形音
を。之松子そら。ハけ人あり。一ハ。うんろ
ろ。を。さ。らくとせ。せー。祀の人で。こ。る
小。さ。津。以。下。子。だ。の。下。山。地。妻。と。せ。ー。が。
ま。け。り。て。ま。ぶ。つ。せ。ー。が。そ。小。ら。り。り。ち。



あつちど。杉んでると。と。舞とけ人。何。不
業。トて。並。争。小。争。し。ま。先。[喉]。ア。ふ。ち。や。
神。お。え。ん。の。ア。ノ。死。小。つ。そ。も。う。兵。ぶ。れ。了。い
ど。ふ。や。う。の。[神]。又。お。ま。子。の。娘。を。こ。く。
な。れ。ら。し。し。一。派。幸。小。ま。子。已。小。ま。子。ん。も。す
し。中。し。こ。ま。し。お。作。り。バ。ど。あ。く。で。も。け。人。小
ら。ひ。ハ。せ。ま。ひ。[器]。ち。了。が。ホ。や。ハ。モ。ウ。振。社

い。ま。せ。て。今。此。い。丈。が。う。で。そ。こ。か。ま。ぬ [神] 老
そ。こ。ハ。ト。あ。な。は。用。やく

瀬川雄次郎傳

住。右。ふ。き。や。町。新。道。記。の。玉。屋。儼。然。ハ
路。舟。と。一。兀。四。路。金。四。百。多。妻。お。つ。り。
あ。れ。ハ。え。ん。乃。檣。尾。の。娘。あり。初。津。村。金。平
と。て。古。袖。子。の。男。子。あり。古。路。考。の。中。子

三十五



とあり。雄了と政名を拜者（拜者）とありと
しとぞん。世に好治（好治）すも。け人（人）盡（盡）に
きば、きふい前（前）古（古）人（人）考（考）の客（客）小（小）さる
あつが（あつが）一（一）以（以）致（致）考（考）病（病）元（元）再（再）発（発）を（を）彼（彼）案（案）
以（以）人（人）小（小）の（の）比（比）ら（ら）ん（ん）と（と）了（了）せ（せ）し（し）以（以）て（て）
小（小）して。を（を）能（能）べ（べ）し（し）あ（あ）ど（ど）な（な）し（し）ば（ば）あ（あ）の
外（外）の（の）客（客）い（い）や（や）く（く）小（小）口（口）説（説）し（し）が（が）あ（あ）ら（ら）し（し）り

は、いれませぬ。はれがきふひなう。舞（舞）ふ（ふ）小（小）を（を）が（が）解（解）
ごさる。とくく（とくく）女（女）ご（ご）い（い）の（の）わ（わ）か（か）ち（ち）と（と）好（好）で（で）か
け（け）は（は）ぬ（ぬ）い（い）が（が）す（す）げ（げ）か（か）し（し）の（の）よ（よ）と（と）い（い）芝（芝）居（居）の（の）
偽（偽）者（者）で（で）ご（ご）さ（さ）る（る）さ（さ）り（り）あ（あ）ら（ら）ぶ（ぶ）け（け）絶（絶）の（の）上（上）を（を）送（送）閉（閉）口（口）

尾上松之丞傳

信右（信右）い（い）ば（ば）し（し）町（町）新（新）道（道）新（新）お（お）と（と）相（相）の（の）佛（佛）念（念）ハ
幸（幸）引（引）と（と）し（し）二（二）十（十）六（六）金（金）二（二）百（百）五（五）十（十）五（五）兩（兩）

三十一

三十一



吾妻老母有り [評者] 由存の弓町あとし
上へき梅をす子とあり。曰を下りまきこ。
け人よし能く死。佛借しつゝさしませ [評者]
阿比が妻の如しよ。どく。きれてきまうこ
うまふ。おれがせんとの所の場へつゝらも
くあつた。つて。湯をとりふきさふ。糖
袋はうしてやつ。 [評者] ころいぢむなり。四い

町小ありませ。松く懸へえ来り町へハ。
青子おは。故ありて離るる。き
し。沿谷へり。あつたり。が。とく。役者
あり。き。上へ。や。おと。て。ね。と。ね。と。

尾上民藏傳

住居ふまや町會津屋御名を御と
古四治金二百五十ある。あ。時。年。妻。老。母。也。



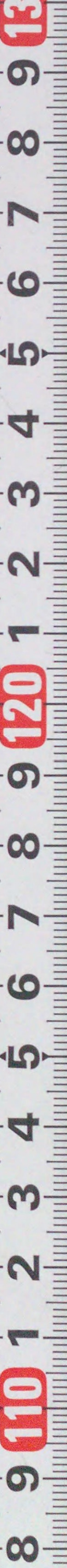


民花ハ京部の産として吉羽あともやのみす子あり
 兼あひを今津いの年いとあが姉あひと妹いの
 二せ帰せ川せニッせの川せ小せ先せ立て。今せひせより兼せ
 の蕭せ琴せ小せ世せ好せてせ積せ気せ質せぶせてせ—
 芳澤伊呂波傳
 位い石い子い日い石い餅い之い多い浦いとい—十八
 給い金い二百五十い也。句い後いをい事い大い坂いの産

評者下。深恩ふかいのみす子あり。おとしおとし阿あ也あの古
 人とい兼い子い彼い呼い呼い一い—いせとい致いされ
 ます。こい山いもいやい—いきい性いていこいさいるい。いい其いのいり
 あり。何いるい娘い振い成い切いて。あい人い坂いをいひい—いお
 へいらいはいまいまいごいすいあいぶいぬい牙いのい小い。彼い少い婦いハいこいれ
 世いにい居い小い車い小い舟い忍いのい烟いとい立いのいかりい極いと。
 中村富十郎傳

住居木挽町六丁目にて王守丸御殿を
子と一十三。冷金一千あり。喜おち女子
二人。侍は目小のぼる。譯者大坂の産之。
今古天下を交の女ごと。す一温どゆん
うして風流あり。殊小給小念何り。平
人うなと小画をト。鈴くても一丸い
まを。其外其之二弦書柔の湯。鏡中

然皆が連者。身跡もど小。此れを。又お内
の僕従をど。うらむどの。無何りても。此るおど
することなく。物疑滞せざる不。難すれぬ
氣質。け人極早の。凌ぎごまき。汗一
滴。此れを。せけんて。七十の八十のと
と。はけなま。の。や。せ。ど。し。常。年。の。心。
五十三。小。あ。し。も。悔。ま。ら。小。さ。を。し。う。り。ま。を。



私わたくし一ひとうひとことこと。アアルル事事一ひとことこと。ささままららばば。ちちどどぬぬ人人のの七七十十のの八八十十のの七七十十のの七七十十。せせりりああららわわどど。ききひひ人人病病気気のの対対向向。ケケ國國のの意意解解律律仰仰へへんん。私私休休むむ捧捧ささととてて。ふふひひ五五十十二二とと直直守守小小忍忍ららしし。がが類類ををどどくくちちががひひ。んん私私休休むむののままぬぬものものををししむむ。ははるるややおお七七十十何何れれもも。非非やや伝伝へへしし。然然ししややししままいい。

おおれれがが性性ちちややううここででごごささるる。[三]回回おおれれがが怒怒りり。毒毒ののちちももけけつつおおへへりり。吾吾のの太太丈丈さんさん。ええららふふ強強かかななるるままややとといいふふとと氣氣ががしし。小小玄玄法法不不願願むむららしし。私私がが休休むむ。私私のの毒毒ををふふちちをを解解ととままささららしし。アア、おおいいははななささししももみみがが。ととんんごご。祭祭ののちちをを若若ででいいああひひうう。[評者]おおままししここむむびびごごむむののりり。おおささええんん町町。

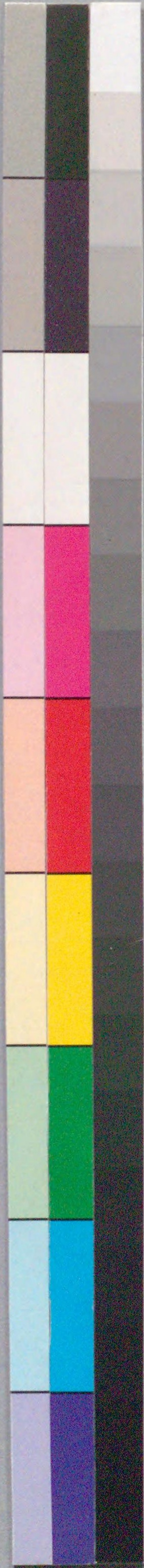
四十一



208
26

去すより後いさづき。其外ことの外のうろふ。亦また何なにと
成なりちぬおそと。古今こゝんの大人おとな。あんと
子こあて。下した價あひもので。いざぶぬ。ま
木き被ひ町の盛さか。ぬし。金かねけ人ひとあのみ。
くる帰かへ代のよ役やく者もの。まこと。事ことハ
う。い。ま。を。い。か。中ちゆうぐ。六ろくを。考かうて。れ
流なが。成なり。始はじめ。も。し。ま。や。う

江戸四日市
古今珍書
遠藤屋



208
26

い
は
な
り
の
し
ら
せ
ぬ
は
な
り
の
し
ら
せ
ぬ
は
な
り
の
し
ら
せ
ぬ





国立国会図書館 役者穿鑿論 208-26



ガラス使用

